

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2014.4.25 No. 195 連絡先 FAX 042-555-1911



米軍横田基地の飛行回数 2013年度 11,137回 前年より3,061回増

米軍横田基地の2013年度の飛行回数は、福生市熊川の誘導灯付近で、11,137回、2012年度より3,061回も増えていることが分かりました（下記の表参照）。2013年度の時間帯別飛行回数は、7時～19時：8,697回、19時～22時：2,289回、22時～7時：151回。夜もうるさいはずです。

年度	2013	2012	2011	2010	2009	2008	2007	2006	2005	2004
飛行回数	11,137	8,076	8,686	8,799	8,505	9,655	8,722	9,232	9,781	9,929

オスプレイ県外移転促進で一致 小野寺防衛相とエイモス米海兵隊総司令官

小野寺五典防衛相は4月15日、米海兵隊総司令官エイモス大将と防衛省で会談し、沖縄県の基地負担軽減に向けて米軍普天間飛行場（同県宜野湾市）の垂直離着陸輸送機MV22オスプレイの訓練の県外移転を促進させることで一致。小野寺氏は会談で、2018年度までに自衛隊が17機のオスプレイを導入することを踏まえ、県外に整備する訓練施設を「米軍のオスプレイにも使ってもらい、共同訓練をしていきたい」と提案。エイモス氏も応じる考えを示したそうです。

ところで4月15日、米海兵隊のエイモス総司令官が来るというので、朝霞訓練場では戦車砲（空砲）3発を発射するという、大変珍しいことがあったそうです。エイモス氏は陸上自衛隊と懇談、陸上自衛隊は水陸機能強化に対するエイモス総司令官の全面的支援に対し謝意を表し、今後も各種訓練等の機会を通じ、更なる連携を図ってゆく旨、認識を共有したそうです。

内藤功氏「憲法を武器に闘おう」 第61回座り込み 125名が参加



4月20日（日）、横田基地前の座り込み行動は6年目に入りました。少し寒かったのですが、心配された雨は降らず、本当によかったです。

内藤功さんの記念講演は、「横田基地の航空自衛隊は2012年3月26日の運用時点で約760人。2014年度中には約900人に増強される。」とした上で、航空総隊司令部、気象及び警務関連部隊、作戦情報隊、作戦システム運用隊（隊名変更）、航空戦術教導団（新編）について説明。



特に航空戦術教導団については「今後の、横田基地の性格、自衛隊の大改造、集団的および個別的自衛権の憲法解釈の拡大変更の問題に関わる。『戦争する国』への軍事的基盤、法的基盤作りにかかわる問題である。」と、詳しいお話しをされました。2013年12月17日に閣議決定された国家安全保障戦略等との関連があり、もっと学習しなければと思いました。（次号へ続く）

伊江村 パラシュート夜間訓練で ドラム缶 800kg 落下 (No. 195 の裏面)

沖縄県伊江村で 17 日午後 9 時 10 分ごろ、米軍伊江島補助飛行場で米海兵隊がパラシュートで物資投下訓練を行った際に、水約 200 リットル入りのドラム缶 4 本、合わせておよそ 800 kg をフェンスの外に落下させました。この事故によるけが人や被害は確認されていません。

落下地点は米軍への提供施設内ですが、フェンスの外で、フェンスから約 1 キロ離れた米軍伊江島作戦支援分遣隊施設建設中の工事現場です。昼間は建設工事の人の往来があります。

伊江村政策調整室によると、18 日午前 8 時 30 分に島袋秀幸村長ら職員が現場調査し、落下の衝撃でできた幅約 1.5m、深さ約 20 cm のくぼみと、ドラム缶から漏れたとみられる水を確認しました。ドラム缶は米軍によって回収されていました。同村では 3 月 26 日に米海兵隊員が降下訓練中、パラシュートが訓練場外に落下する事故が起きたばかりです。

2002 年 10 月には、米軍輸送機から約 75 kg のポリタンクと閉じたままのパラシュートが民間地に落下した事故が起きました。約 50 メートル離れて女性が農作業をしていたといいます。

テレビでも「パラシュートでの物資投下訓練をめぐるのは、1965 年に読谷村で当時 11 歳の女の子がトレーラーの下敷きになって死亡する事故が起きており、住民がアメリカ軍による訓練の危険にさらされる状況が今も続いています。」と報道し、新聞でも「降下訓練は米本土へ移せ」「このままでは大惨事につながる事故がいつ起こっても何ら不思議ではない。日米両政府は伊江島でのパラシュートを使った降下訓練を直ちに中止すべきだ。」と主張しています。

伊江村議会（亀里敏郎議長）は 23 日、物資降下訓練の即時中止と原因究明などを求める抗議決議と意見書を全会一致で可決しました。島袋秀幸村長と全議員らが 24 日に、抗議決議と意見書を持って沖縄防衛局や、外務省沖縄事務所などに抗議します。

現在、米軍が日本でパラシュート訓練を日常的に行っているのは、伊江島補助飛行場と米軍横田基地です。人ごとではありません。

日本でのパラシュート訓練は直ちに中止すべきです。

(写真：ドラム缶の落下現場で基地渉外官から説明を受ける村長ら＝18 日、沖縄県伊江村、名嘉村議提供)



2014 練馬駐屯地祭 ウォッチ・レポート (一部、転載です。)

2014 年 4 月 13 日、自衛隊をウォッチする市民の会の有志で、練馬駐屯地祭をウォッチしてきました。以下は、ウォッチ・レポートです。

● 展示中の戦車に子どもが乗っている！！ (写真)

まず、驚いたことに、入場して、すぐ左手のところで、なんと、「戦車に子どもたちが乗って騒いでいます！！」

他の駐屯地などで、行われていることは知っていましたが、練馬でされるとは…。大変ショックを受けました。

戦車は、蓋が開いたり、鋭意な金属がむき出しになっていたり、子どもたちが近寄るのは大変危険だと感じました。たまたま子どもを連れてきていた現役自衛官も「金属の角にでもひっかかったら、けがをする。」と安全性に疑問を呈していました。

展示中の戦車に子どもを乗せることは、安全性だけでなく、その意図においても、大変問題があると考えますので、自衛隊を追及したいと思います。小銃や機関銃は展示なし、でした。

